

【学校教育目標】
共生・自立・健康 ～一人ひとりの思いや願いで繋がる学校～

【本年度の重点目標】
○ 基礎・基本の定着と学習意欲の向上
○ 家庭学習の工夫、改善
○ 規範意識の育成、及び醸成

領域	項目	自己評価	学校関係者評価	学校関係者評価を踏まえた改善策					
1	確かな学力の向上 (結果) 全員公開授業研修や校外研修への積極的な参加等、教師の資質向上のための研修・実践に努めることに重点を置いてきたが、徐々に効果が表れてくるようになり、授業改善への意識と実践が進んできた。 定期考査での「チャレンジタイム」及び「フォローアップタイム」も三年目となって、定着しており、定期考査に向けた繰り返し学習等、学習内容の定着が図られるとともに、自学ができるようになってきた。 小学校段階でのつまずきに課題が見られ、発達の段階に沿った学力実態の把握、対応が必要である。	B	【学校の全体構想のバランス】 ①教育目標をどのように感じますか 4 ②重点目標をどのように感じますか 4 ③学校運営年間指針は、どのように感じますか 4 ④校長のP-D-C-Aをどのように感じますか 4 【学校目標の到達度】 ⑤本校の進路指導・進路状況をどのように感じますか 4 ⑥生徒指導の現状・指導状況をどのように感じますか 3 ⑦部活動の現状・指導状況をどのように感じますか 3 ⑧本校の学校評価をどのように感じますか 4 ⑨PTAや地域との連携をどのように感じますか 4	学力向上に向けた組織的な実践を、更に充実させるとともに、将来の夢・仕事を持つような学習を充実し、学習意欲の向上を図る。 TT授業や習熟度別分割授業等を積極的に取り入れ、子供一人一人の実態に応じたきめの細かい指導が、各教科において、工夫して行われている。ただ学力の二極化も学年が上がるにつれて進んでおり、補充的な学習に加え、発展的な学習を課題別分割授業等で行う等の工夫が進める。 自学については、小中連携して発達の段階に応じた家庭学習を行っており、1日1枚の課題プリントと自学ノートを行うことで、少しずつ定着してきており、更なる充実を図る。					
			【教師の姿】 ⑩教師の熱意は高いと思われませんか 4 ⑪教師の教育活動は活発ですか 4 ⑫教師の授業における能力は高いと思われませんか 4 ⑬教師の対応や指導力は高いと感じますか 3		教職員間の生徒についての情報の共有化は円滑に行われている。小学校からの人権教育が生徒一人一人に根づいているので、道徳や特別活動等を充実して、強化するとともに、実践力をつけるようにする。				
			【生徒の姿】 ⑭生徒が安全で安心して学校に通っていると思いますか 4 ⑮生徒が生き生きとした姿を見せていますか 4 ⑯生徒の学力が身につけていると思いますか 4 ⑰生徒の人間性が育っていると思いますか 4 ⑱生徒の社会性が育っていると思いますか 3 ⑲生徒の体力が育っていると思いますか 4			現状に満足することなく、予防的な生徒指導の充実を図っていく。特に、不登校生徒0を目指し、生徒一人一人の心のケアと成長を促していくような教育活動を工夫する。また、新1年生が大幅に減少する等、中学校の現状を知らない地域の方や小学校の保護者には過去の荒れたイメージが残っているようなので、特別活動や総合的な学習の時間等で、地域と生徒をつなぎ、地域全体へ生徒の姿を発信できる場をつくる。			
			○ 生徒と教師、教師と保護者の関係が良い。 ○ 学校と家庭と地域の連携が大切である。 ○ 先生方の教育に対する努力に頭が下がる。 ○ 先生方の教育に対する 熱意を感じる。				生徒一人一人に知徳体の三つの条件が整いつつあり、教職員の更なる高みを目指す熱意を生かし、成果を上げるようにするために、また、「地域を愛する人材育成」を進めるために、多くの人との出会いをつくり、生き方を学ぶことで、自分の将来を考えることができるような活動を創造する。		
			3					信頼される学校づくり (結果) 組織的な生徒指導体制がほぼ確立できているため、対処的な生徒指導ではなく、予防的な生徒指導を進めることができ、一年間落ち着いた学校生活を送ることができた。また、学力も安定してついてきているので、学校に係わっている地域の方や保護者の方の信頼は高まってきている。	A
			総合所見 昨年度と比較して、どの項目も改善・充実してきた。それは、生徒の実態を全教職員が共通理解し、その課題解決に向けて、共通実践を組織的に行ってきた結果である。特に、組織的、かつ予防的な生徒指導が確実に機能しており、生徒が落ち着いた学校生活を送ることができるようになっている。併せて、学力向上に向けた様々な実践が定着してきており、						

学力が確実についてきている。